



更科源蔵(さらしなげんぞう)  
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動を続けた。  
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



左から、メモを取っているのが更科、その右隣が坂本直行、1人おいて右端が広尾又吉老人

日高の山から出た雷が海に行つて帰らない間十勝の天気はよくなるいもんだ初対面の広尾又吉老人はまだ二三日は海から帰るまいから今日は雷のいない日高の山は密雲にときざされているのだといった

私が十勝を去る日遠雷の音がしたやつと海から帰ってきたな(と)思ったが又吉老人のいった通り十勝野の上に彼の微笑みような青空がひろがっただがそれから半月もしないうちに大木のように斃れたという彼の訃報をきいた

私の会ったときはもう起きれる状態でなかったのに無理してきちんと背広をきて待っていてくれたのであるあれから七、八年になる

(略)

「コタン詩集」から

## 『広尾又吉老人』

詩人・尾崎喜八らが中心になり、申田孫一(詩人・哲学者)が責任編集した山の文芸誌「アルプ」という雑誌のNo.16号(1959(昭和34)年6月号)に「十勝の山々」という更科の散文が掲載されています。

散文には、更科がぜひ会って話したいと願っていた、十勝系アイヌの広尾又吉老人との出会いのことが書かれています。

更科は、又吉老人と懇意にしていた坂本直行(山岳画家)らと、1957(昭和32)年11月上旬に十勝に出かけています。でもこのとき、又吉老人は病に伏していたのでした。そのことを聞いていた坂本直行は、更科に「寝ているから行っても駄目らしい」と話します。

しかし又吉老人は、せっかく札幌から来るという客に失望させまいと、きちんと身支度をしてストロブの前に座って待っていてくれたのです。更科は、その心遣いへのどが詰まって、思うように話ができなかつたといえます。

そして更科は、初めて会った又吉老人の白いあごひげや、笑ったときに見える白くてたくましく美しい歯に、いつか母が語ってくれた祖父の姿が重なり、顔の知らない

い祖父を想像します。

又吉老人と語るうちに、更科たちは驚きます。それは、又吉老人の戸籍の生年月日は「明治四(1871)年一月不詳」となっているのですが、又吉老人の話によると、どうもこのときで100歳近い年齢になつていないとつじつまが合わない歴史的事実に立ち会っていることでした。そして、病に伏す少し前までは、使いこまれた村田銃を肩に担ぎ、クマを追つて日高の山々を自由に闊歩(かつぽ)していたことです。(雪原の足あと「坂本直行著から引用」)

更科は思います。「自然の中に生き山に狩り、海に漁する人に年令なんてどうでもい、のである。そんなことは彼等の生活に何の必要もないのである。歳を数えてみて何になろう、それよりもっと重要なことが山ほどあるのである」と。

いろいろと語ってくれた又吉老人と別れるとき「また来たらきつと寄ってください」という又吉老人の優しい言葉に更科は「祖父が私を信じてくれたようにうれしかった」と感激します。

それから数日後、坂本直行から「マキチシス」の電報を更科は受け取ったのです。

# 第61回弟子屈町総合文化祭を開催

芸術と文化の秋、10月9日(土)の町民ダンスの夕べを皮切りに11月7日(日)まで、文化サークルなどが日ごろの活動の成果を発表します。ご家族おそろいで、また皆さんお誘い合わせの上、ご来場ください。

■会場/公民館 (展示時間/9時~18時 各最終日は16時まで)

催物案内	日程	団体名
展 示	10月23日(土)~10月24日(日)	正光末生流江上社中・池坊リラの会
	10月23日(土)~10月27日(水)	グループホームあったか家・ダイケアセンターたこ八・グループホーム家路・弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会・香墨弟子屈習字勉強会・摩周湖絵手紙・弟子屈短歌会・弟子屈郵便局・摩周フラワーマスター協会・摩周多夢窯・個人作品展
	10月26日(火)~10月28日(木)	あさひ絵画教室
	10月30日(土)~11月3日(水)	弟子屈町老人デイサービスセンター・弟子屈町養護老人ホーム倭和園・摩周焼陶芸教室・おひさま保育園・きずなのなかま達・手編サークル&すずらん編物教室・木綿美キルトグループ・アートフラワーマーガレット同好会・ステンシル、ボタニカル、アソシエーション・創作人形Y o uの会・ビーズ友の会・公民館「手編み」講座
	11月5日(金)~11月7日(日)	弟子屈菊同好会・てつなぎ工房

## ■会場/摩周観光文化センター

催物案内	日程	団体名
芸能発表会	10月31日(日) 10時開会	午前の部 弟子屈小学校吹奏楽部、弟子屈中学校・弟子屈高等学校吹奏楽部、摩周蝦夷太鼓保存会、摩周おこ子ども教室、山田流琴千会、弟子屈町文化協会、川湯ばやし保存会、奥春別小学校、リコーダーを楽しむ会、踊翠流鶴双会弟子屈支部
		午後の部 生田流琴友会、社団法人日本詩吟学院岳風会北釧路支部、弟子屈宝生会、総合舞踊ゆかり会・舞踊サークル華、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、桜祐二歌謡学園摩周歌謡教室、弟子屈摩周湖民謡会、聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部、しらかば合唱会、摩周丘幼稚園、パトントワラー弟子屈教室、会場の皆さん全員で(弟子屈音頭)

- ダンスの夕べ (摩周湖農協ビル3階) 10月9日(土) 18時~
- 町民茶会 (摩周観光文化センター1階ロビー) 10月31日(日) 10時~



文化活動の成果を見に行きませんか

□問い合わせ先/教育委員会社会教育課社会教育係 ☎482-2948 (課直通)

# 2010 10月22日(金)

## ブルーコンサート

### 摩周湖

開場 18:00 開演 19:00

鉦路圏摩周観光文化センター

札幌交響楽団 弟子屈公演

前売券 [税込] 一般 2,500円 (当日3,000円) 高校生 1,000円 (当日1,200円) 小・中学生 無料

チケット発売所 弟子屈町公民館 TEL.015-482-2948 鉦路圏摩周観光文化センター TEL.015-482-1811 川湯ふるさと館 TEL.015-483-2060

お問い合わせ 摩周湖ブルーコンサート実行委員会 (弟子屈町教育委員会 社会教育課内) TEL.015-482-2948 FAX.015-482-2340 メールアドレス: shogai@town.teshikaga.hokkaido.jp